

European Quartet One Melody

中央ヨーロッパの四カ国

チェコ共和国・ハンガリー・ポーランド共和国・スロバキア

www.european-quartet.com





チェコ共和国

2-7



ハンガリー

8-13



ポーランド共和国

14-19



スロバキア

20-25



ヨーロッパ四重奏を一つのメロディーで

ヨーロッパ四重奏とは、チェコ・ハンガリー・ポーランドとスロバキアの中央ヨーロッパ4ヶ国が海外で観光に関する共同プロモーションを行うためのネーミングです。

ドナウ川が東から南にその流れを大きく変える場所、ドナウベンドにあるヴィシェグラードは、古来から往来の要衝として、また重要な外交の舞台でもありました。1335年に時のハンガリー、チェコ、ポーランド(スロバキアを含む)の三国王が独自の貿易ルートを作り出すための同盟を結ぶため、この地に集まった故事にちなんで「ヴィシェグラード諸国」、略してV4グループと呼んでおり、各分野で盛んに交流が進んでいます。

これらのV4グループ諸国は、中央ヨーロッパ4ヶ国の観光プロモーション政策の目標をそれぞれの国が単独で行うのではなく、その地域全体に観光客の皆さんの関心を引き寄せるように進めています。

V4諸国内には、豊富に存在する世界遺産、中世の歴史的遺産、著名な作曲家を輩出した文化的背景、雄大な自然など共通の土壌があるほか、それぞれ独自の景観、食、民俗芸術などの魅力が、みなさんをお待ちしております。

ブダペスト



プラティスラヴァ

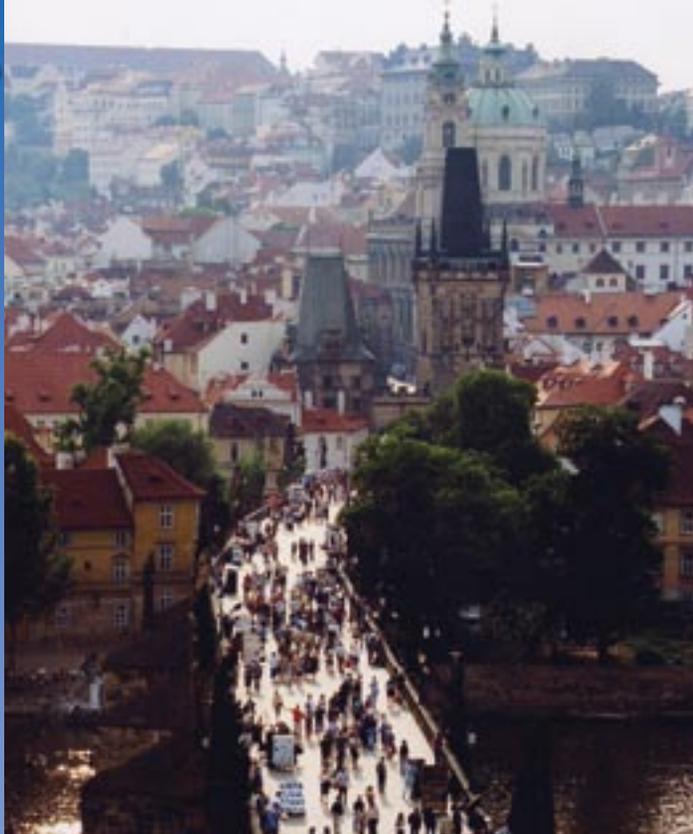


ワルシャワ



プラハ





旧市街とカレル橋



ヤンスケ・ラズネはツェルナ・ホラの麓に湧く温泉

カレル橋・聖イベス像



チェコ王と神聖ローマ帝国王のカレル4世王によって建設されたカレルシュタイン

チェコ共和国

面積	7万8866km ²
地理的な位置	チェコはヨーロッパの中央に位置し、ドイツ・ポーランド・オーストリアとスロバキアと国境を分けています
人口	1029,3 万人
国旗	青・赤・白の3色
言語	チェコ語
首都	プラハ(人口1,213,000人)
主要都市	ブルノ・オストラバ・ピルゼン・オロムネツ
気候	温暖・四季あり・冬季に変わりやすい・夏は暑い 平均気温は、最低気温である一月の零下2度から、最高気温である7月の20度まで



プラハにあるカレル橋と国立劇場

チェコ共和国

チェコは、ボヘミア・モラビアそしてシレジアの一部の歴史的な地域を含む所に位置し、周りは山脈に囲まれています。遠い昔からチェコは、東・西・南と北からの商業ルートが交差する所でした。

またチェコ領は、ヨーロッパの文化が交じり合う国でもありました。12ヶ所の世界文化遺産の名所も関心を引きます。それらは、プラハの旧市街の中心・クトナ・ホラ市・セスキ・クルムロウ市・テルツ市・巡礼の地であるゼレナ・ホラの聖ヨハネ・ネポムク教会・リトミシル城・レドニツェ・バルティツェ城・クロメリツ城と庭園・オロムネツの三位一体の円柱・ホラショビツェ村の民家建築・ブルノのモダニズムのビラ・ツゲンドハト、そして一番新しいトレピツのザモスティのユダヤとキリスト教文化の跡です。ヨーロッパと世界における文化と学問の最も偉大な人物たちは、チェコの歴史において忘れられない形跡を残しました。ベートーベン・カサノバ・アインシュタイン・ゲーテ・カフカ・モーツァルト・ティホー・ブラハは、チェコと関係があったかチェコの影響を受けた人です。

チェコはヨーロッパにある国の中で最も若い国の一つで、チェコスロバキアの後継として、2003年に建国10周年記念を迎えました。2002年

に正式にEUに加盟することが決まりました。チェコはNATO条約の正式加盟国でもあります。

チェコは活動的に又は静かな休息を望む方のために、公式そして非公式な会談に、又、特にチェコの豊かな歴史と芸術・美しい自然を満喫したい方にとって最適な場所です。本当に訪れるべき国です。

歴史的な場所

チェコには、世界の最も優れた建築及び芸術を代表する多くの場所があります。チェコの首都はプラハで、「ゴールデン都市」・「百の尖塔の都市」そして「マジック都市」とも呼ばれています。

それらは、プラハの美しさと魅力を現すために創られました。プラハは多くの山と丘に位置し、幅広い流れのヴルタヴァ川を見下ろしています。

様々な風景のある地域に位置しているため、ため息が出るほどの美しい眺めが数多くあります。プラハのゴシック・ロマン・ルネサンス・バロックそしてロココ様式の建築物は、20世紀の初めのアールヌーボーとキュービズムのユニークな例と調和しています。聖母マリア教会とユニークな時計を誇る旧市街の市役所に向かう時も、ヨーロッパ最古の石橋の一つであるカレル橋の散歩をする時も、どこを見てもプラハ

の素晴らしい建築物を楽しむことができます。ボヘミアの王の所在地であり、現在チェコ共和国大統領官邸であるプラハ城と聖ビトゥス大聖堂の塔は、比類が無い程美しい風景です。ペトリン丘は車でも通れますが、プラハ全体を一望できる場所であり、パリのエッフェル塔のミニチュアのような展望台もあります。

しかし現在のプラハは、多くの文化・教育・スポーツのイベントが開催される近代的な大都市でもあります。またプラハを訪れる方は、最高級のホテル及びレストランなども楽しむことができます。

ブルノはチェコの第二の都市で、モラビアの伝統的な首都です。その特徴は、町を一望できるスピルベルク要塞のその姿です。ペトロフ山には、ゴシック様式の聖パウロとピーター大聖堂があります。現在のブルノはモラビア地方への重要なルートでありながら、産業・文化・見本市の中心であります。

チェスケー・ブディヨウヴィツェは、プレミスル・オトカル2世王によって、ヴルタヴァ川とマルセ川が合流する場所で1265年にできた町です。町はチェス盤のような配置になっています。13世紀のドミニコ会の修道院と聖母マリア犠牲教会では、ゴシック様式に重要なフレスコ画が見所です。それらは最近にな



ベツォフ 宮殿と城

って発見された物です。その近くでは、ルネサンス時代の肉屋に出来たレストランで、有名な地方料理を味わうことが出来ます。プラハへ向かう途中にはブドバル醸造所があり、そこの製品を味わいながら工場見学することも出来ます。

チェスキー・クルムロブは、ルネサンス様式の建築においても特別なものです。オーストリアとの国境の近くのヴァルタヴァ川の曲がりくねりに位置するその都市には、主に16世紀の都会建築とプラハ城の次に重要な城建築がユニークな共存をしています。その町は音楽と芸術の中心で、エゴン・シーレセンターによって開催される様々な面白いイベントを提供しています。

テルツ市は、モラビアのベネチアと呼ばれることもあります。王の古城は、商業ルートが交差する所に築かれました。テルツでは素晴らしい民家と美しい小道、及びゴシックとバロック様式の教会が見所です。その最大の名所は広場で、かなり大きいアーケード付きのルネサンス様式である建物が回りに並んでいます。それらはお伽噺話のような雰囲気を作り出しています。

ユネスコの世界文化遺産の名所

チェコ共和国の12ヶ所の優れた文化遺産は、ユネスコの世界文化遺産になりました。

全世界からチェコに来た人たちは建築物の建設と城を美しくするために、そして教会建設と修道院創立に貢献しただけではなく、チェコ全体の街づくりに大きな影響を与えました。

チェスキー・クルムロブ:この絵のように美しい町は、ボヘミア地方の南のヴァルタヴァ川が曲がりくねった深い谷に位置しています。町が一番繁栄した時代は、ロズンベルク貴族がここに屋敷を建設したことから

始まりました。イタリアのルネサンスは、町及びその城の姿に大きな影響を与えました。17世紀末のエッゲンブルグ王朝の時代には、バロック様式の劇場が建設され、城の庭園が改造されました。またシュファルツェルゲルグ王朝の時代には、クルムロブ全体がバロック様式に変わりました。しかし300件の歴史的な建築物があるユニークな町だけに留まりません。チェスキー・クルムロブは、活気のある文化・会議そして観光の町でもあります。

ホラソヴィツェ:南ボヘミアにあるその13世紀の村は、まさに田園バロック様式の宝物です。村自体が生きている田園伝統のモニュメントであり、私たちは馴染みのある有名なチェコのオペラ「交換された嫁」の雰囲気味わうことが出来ます。

ゼレナ・ホラにある聖ヨハネネポムク教会:ジダル修道院の僧院長は、チェコの聖人・ヨハネ・ネポムクを記念するために、この教会を建設しました。教会は、プラハの天才建

築家ジョヴァニー・サンティニのある種の遺言でもあります。彼は、その教会の構造の基本の象徴に、星の形を選択しました。

クロメリツ:中央モラビア地方のフリビ山脈の麓に位置するその町は、1777年にオロムネツ司教の所在地に選ばれました。素晴らしいクロメリツ城とその庭園は、バロック様式の庭園と城建築の優れた例として高く評価されています。それらは、中央ヨーロッパのバロック様式の宮殿造りと庭園技術に、大きな影響を与えました。

クトナ・ホラ:中世時代にクトナ・ホラの銀鉱山の利益はチェコを有名にし、町自体はチェコの最も豊かで有力な町になりました。15世紀の初めにクトナ・ホラは、ベンチェスラフ4世王の所在地になりました。ゴシック様式で1330年に建設された聖ジェームズ教会と、1388年に建設された聖バーバラ大聖堂は、最も重要な建築物遺産でもあります。クトナ・ホラは、プラハから南に約55kmの所にあります。

レドニツェ・ヴァルティツェ:大きなバロック様式の建築物集団で、有名なテンカッラ・マルチネリ・フィシェルフォンエルラフとオスペルという建築家によって、リヒテンシュタイン家のために建設されました。それは面積約150km²で、ブルノの近くのレドニツェとバルティツェの小さな町の間広がっています。バルティツェ城は美しい公園で囲まれ、その中にはロマンチックで馬鹿げた建築物と珍しい植物と熱帯植物の温室が多くあります。城はオーストリアの国境近くにあり、プラハ・ブルノ・ブラチスラバ高速道路又はブ

チェスキー・クルムロブ市はヨーロッパで最も美しい町の一つ





ルノエクスチェンジから行くことができます。

リトミシュル:リトミシュルの小さな町でペルヌシュタイン家は、中世の城を所有していました。その城は16世紀の後半に、ルネサンス様式に改築されました。その城は、チェコに導入されたイタリア独特のアーケード式の造りの例でもあります。それは、中期ルネサンス時代とその後の様式に改築された貴族屋敷の素晴らしい例です。リトミシュルは、チェコの優れた作曲家であるスメタナの生まれた所でもあります。毎年、スメタナ音楽祭が開催されています。

プラハ:1000年以上の歴史を持つプラハの歴史的中心は、そのロマン建築様式のロタンダからゴシック様式の塔、そしてルネサンス様式の商人の家と宮殿、ユダヤ教のシナゴーク、バロック様式の教会と修道院までが共存しており、現地人と外国人を同様に魅了します。プラハの中心の建築の宝物は、石で出来た過去の記念碑だけではありません。プラハはいつも生きている町であり、多くの劇場・コンサートホール・画廊・博物館と展示室のある町です。それらの文化イベントは豊富で多方面です。プラハは可能な限り多方面に活躍する町です。あらゆる訪問客が、自分なりのプラハの姿を発見することが出来ます。

オロムネツの三位一体の柱:バロック様式の柱は、1716年と1754年の間に建てられました。それは、司教座が置かれたその町の熱烈な宗教時代の現れでもあります。その柱にはキリスト教の絶対的な考えと教義、そして建築的・芸術的な表現が

プラハの橋

統合されています。そのバロック様式の柱は、ユネスコの世界文化遺産化されたため、モラビア地方の古いオロムネツ市も知られるようになりました。

テルツ:元来町は、王の水上要塞でした。交通量の多い商業ルートが交差する場所で、13世紀に出来ました。現在の様子は、城と町全体が改築された16世紀に出来上がりました。

トレビツのザモスティ地区:チェコの世界文化遺産として、一番新しくリストに記載された所です。指定された場所は、聖プロコピウスバシリカ聖堂と元ユダヤ人地区です。ロマンゴシック様式のバシリカ聖堂の歴史は、13世紀に遡ります。元来の床のレイアウトと全ての建築的

トレビチ・ユダヤ人墓地



な特徴がそのまま残存しています。ユダヤ人地区はヨーロッパだけではなく、世界でも特別な建築集団として評価されています。何故なら5件の建物以外に全ての建物が長年に亘り、殆どそのまま残存しているからです。二件のシナゴークと共に、市役所・ラビー室・ユダヤ人学校・感化院・病院・屠殺儀式・皮鞣工場・そして墓地を含む123件の建物が残っています。

トゥゲンドハット別邸:ブルノのチェルナ・ポレのツゲンドハットビツラは、チェコ共和国で初の、そして世界で4番目の近代的な建築物として、ユネスコ世界文化遺産と認められました。その建物の名前は、ブルノのテキスタイル工場の所有者であった有名なナフリッツ・ツゲンドハットから名前を取りました。彼は家族のために、第二次世界大戦前にその建物を建築しました。ツゲンドハット別邸は、専門家によって国際的な意味合いにおいて、近代建築の打撃点であると言われています。

ユダヤ人の伝統

プラハのラビー・レーフと、想像を超えるテレジン収容所でのユダヤ人の苦しみの間に、数百年に亘るチェコ人・ユダヤ人・ドイツ人の、ボヘミアとモラビアでの共存の歴史があります。その跡は至る所にあります。シナゴーク・墓地・書籍・自筆と多くの芸術品があります。第二次世界大戦とホロコーストで、長年に亘ってユダヤ人が創った物が数多く破壊されたにもかかわらず、今でも次の世代のために保管するものが多くあります。



プラハを流れるヴルタヴァ川

プラハのユダヤ人社会の歴史は、10世紀に遡ります。プラハの有名なユダヤ人地区の才能は、多くの文学人の想像力に影響を与え、その地区を想像させるようにしました。

教会造りの奇跡とも呼ばれていた6ヶ所のシナゴークが残りました。それらはOld・Newシナゴーク、Highシナゴーク、Maiselシナゴーク、Klausenシナゴーク、PinkasシナゴークとSpanishシナゴークです。ユダヤ人墓地は唯一の場所として、今でも時間の経過と関係なく、ユダヤ人地区の雰囲気を保っています。

プラハで異なる三つの文化、つまりチェコ・ドイツとドイツ語を使うユダヤ人文化が共存していたことは、段々近代的なユダヤ人文学の誕生に繋がりました。G.メイリンク、Fヴェルフェル、Jウジディル、Mブロード、そしてもちろんFカフカの文学が誕生しました。

モラビアの最も古い保養地のテプリツェとベツォヴォウ



チェコとモラビア地方の都市の多くには、ユダヤ人地区がありました。ボショピツェ市のユダヤ人地区とその細道・病院・ラビー室・市役所と屠殺場などは、チェコの最も面白いユダヤ人の遺産の一つであるに違いありません。ミクロフ市のユダヤ人地区の歴史は15世紀に遡り、優れた教育施設とシナゴークを誇りとしています。トレビツ市のザモスティのユダヤ人地区と、そのルネサンス様式からバロック様式とクラシック様式までの120件の建物は、チェコ全体で最も良く保管されているものです。

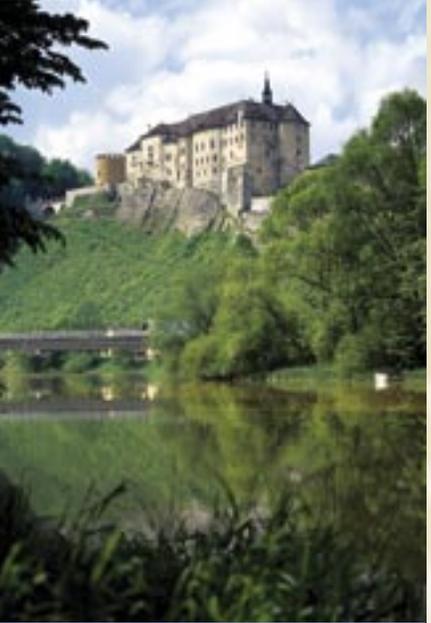
保養地

チェコ共和国には、数百ヶ所のミネラルウォーターの湧く場所があります。その多くは治療のために、既に15世紀から利用されていました。

チェコの保養地のある都市は、景色の美しい地域に位置し、町の配置と保養地独特の建築様式ということもあり興味深い所です。チェコの保養地で可能な治療は、完全に自然の治療効果に基づくものです。それらはチェコ領の特別な地質によるものです。最新技術の治療方法とリハビリ方法と伝統的なミネラルウォーター・ガス及び気候の使い方を導入することによって、チェコは世界の保養地大国になりました。チェコの学者たちは、大学で独立した温泉学学科を創立し、それが認められるまでにしました。1990年代は、チェコの保養地に新しいチャンスを切り開く時代になりました。新しい生活スタイルは、保養地の治療プログラムに新たに休息及びリフレッシュ・ストレス解消と美容のための方法を取り入れさせました。それらはスポーツ及びフィットネス活動、つまりゴルフ・サイクリング・ハイ

キングとウォーキング・テニス等と合わせ効果を出しています。拡大されたプログラムは、チェコ全体の40以上の保養地で提供されています。

カルロヴィ・ヴァリ(カルススパドとしても知られていますが):ボヘミア地方の西に位置し、テプラ川が流れている深い谷にあります。1350年頃に、カレル4世ボヘミア及び神聖ローマ帝国王によって作られた町です。間違いなくチェコの最大で最も知名度の高い保養地で、国際空港もあり、全世界で人気を集めています。カルロヴィ・ヴァリでは、多くの祭り及び会議が開催されています。また有名なベロフカのリキュール、マツニ・ミネラルウォーターとウェファースの生産地です。町の近くにはチェコで最も面白いゴルフコースもあります。マリアン



チェスキー・ステルヌベルク城は昔ボヘミア最強の城の一つでした

スケ・ラズニェ(マリエンバドとも呼ばれていますが):西ボヘミアの広い谷に位置しています。20mほど広い森があり散歩コースも多くあります。

この保養地は世界的に高く評価されています。それは、治療方法と資源に優れていることと、その周辺のゴルフコースを含む美しい景色によるものです。

ラズネ・テプリツェは、チェコとヨーロッパで最古の保養地であると同時に、最も近代的なものの一つです。北ボヘミアのボヘミア中央山脈とクルスネ・ホリの間位置しています。温泉は、既に紀元前762年から存在していたという記録があります。それはケルト族がチェコ領を開拓していた時代でした。そして彼らが治療のために活用されていた記録は、12世紀からあります。町の文化及び社会的なイベントは、患者



マリヤンスケ・ラズニェは保養地として有名です

により早く健康を取り戻させることにおいて、大きく役立っています。治療以外に、多くの。

文化とスポーツイベントも提供されています。例えば毎年、ショパン音楽祭と若きピアニストのためのコンクールと映画祭も開催されています。特に、海外旅行をテーマにしたTourfilmの国際映画・ビデオ祭が開催されています。

チェコ料理

チェコの伝統的な料理の風味は、皆を誘うものです。チェコ料理は、大きくドイツ料理とオーストリアハンガリー料理の影響を受けました。それを味わう方は、面白い経験をするだけではなく、体重も2-3kgも増えるかもしれません。チェコの伝統料理の特徴は、数が多いこと、風味の幅広さです。それ以外に、脂肪の少ない霜降りの豚肉及び小麦粉で作る多くの料理が特徴です。小麦

カフナ・チェコの伝統料理



粉で作る料理の中でも、チェコ料理のユニークなダンプリングが多種あります。ダンプリングとソースの種類は、肉を日曜日にしか食べることが無かった時代の、重労働する農家の基本となる食べ物でした。また農家の想像力によって、ジャガイモ料理も多数できました。特に、肉料理とダンプリングと一緒に食べるためのソースも大きな役割を果たしています。チェコ料理のもう一つの特徴は、キャベツを使うことです。様々な作り方で、キャベツは温かい付合わせとして出されます。チェコ料理には、飲み物も重要な役割を果たしています。それは、世界的に有名なチェコのピルズナービールと優れたモラビア地方のワイン類と有名な梅酒があります。12種類のミネラルウォーター以外に、カルロヴィ・ヴァリは古くからの秘伝で作る薬草のリキュール・ベヘロフクで有名です。それらの飲み物の人気の高さを証明するのは、それらの祭りの時です。全世界の方が、チェコのワイン及びビール祭に集まってきます。

実用情報

・チェコ観光局

Address: Vinohradská 46, P. O. Box 32, 120 41 Praha 2
tel. +420-221580 111, fax +420-224 247 516
e-mail: cccr@czechtourism.cz
www.czechtourism.com

・チェコ共和国地方開発省

Address: Staroměstské nám. 6, 110 15 Praha 1
tel.: +420-224 861 111, 224 861 250
fax +420-224 861 333, www.mmr.cz
e-mail: vacann@mmr.cz; vitmar@mmr.cz

・プラハ市

Address: Mariánské nám. 2, 110 01 Praha 1
tel. +420-236 003 402, fax +420-236 007 106
e-mail: Igor.Nemec@cityofprague.cz
www.prague-city.cz

・プラハ情報センター

Address: Betlémské nám. 2, 116 98 Praha 1
tel. +420-221 714 301-2, fax +420-222 221 101
e-mail: director@pis.cz
Information Centre: tel. +420-12 444
e-mail: info@pis.cz, tourinfo@pis.cz
www.pis.cz, www.prague-info.cz

・プラハ城管理局

tel. +420-224 372 424, fax +420-224 373 238
e-mail: jana.kucerova@hrad.cz
Information Centre: tel.: +420 224373368, 224372434
Address: Praha – Hrad, 119 08 Praha 1
www.hrad.cz

・プラハ会議局

Address: Rytířská ul. 26, 110 00 Praha 1
tel.: +420-224 235 159, 224 233 166
fax +420-224 234 399, e-mail: pakt@comp.cz
www.pragueconvention.cz

・チェコ共和国観光業協会

Address: Lípová 15, 120 44 Praha 2
tel. +420-224 914 543, fax +420-224 914 674
e-mail: ackcr@ackcr.cz, www.ackcr.cz

・チェコ共和国ツアーオペレーター・観光会社協会

Address: Vinohradská 46, 120 41 Praha 2
tel. +420-221 580 256, fax +420-221 580 257
e-mail: sekretariat@accka.cz, www.accka.cz

・チェコ国立ホテル・レストラン協会

Address: Senovážné nám. 23, 112 82 Praha 1
tel.: +420-224 142 676, 224 142 684
fax +420-224 142 681
e-mail: nfhrcc@nfhr.cz, www.nfhr.cz

・チェコ観光クラブ

Address: Archeologická 2256, 155 00 Praha 5
tel./fax.: +420 235 514 529, 235 514 831
e-mail: kct@klubturistu.cz, www.klubturistu.cz

・チェコ共和国自動車協会

Address: Opletalova 29, 110 00 Praha 1
tel. +420-224 210 266, fax +420-222 246 275
e-mail: inet@autoklub.cz, www.autoklub.cz

・チェコ保養地都市協会

Address: Masarykovo nám. 20/1, 379 01 Třeboň
tel. +420-384 721 459, fax +420-384 723 505
www.spas.cz, e-mail: chaloupka@telecom.cz
tel. +420-384 750 850, fax +420-384 721 135



ハンガリーはワインの世界的な名産地です



ハンガリーの誇る名工ヘレンドは手作りの高級磁器として日本でも有名です

どうぞ召し上がってください



バルトン湖は中央ヨーロッパで最大の湖で、観光名所として広く知られています。

ハンガリー共和国

面積	9万3030km ²
地理的な位置	ヨーロッパの中央に位置し、オーストリア、スロバキア、クロアチア、ルーマニア、セルビア・モンテネグロ、スロベニア、ウクライナと国境を接しています
人口	1004万5407人 (2003年7月現在)
国旗	上から赤・白・緑の3色
言語	ハンガリー語(マジャル語)
首都	ブダペスト
主要都市	デブレツェン、ミシュコルツ、セゲド、パーチ、ジュール
気候	四季がはっきりしており、3月から10月にかけて四季折々の花が楽しめます。五月になるとカラッとした夏を迎え、秋には紅葉も楽しめます。冬の降雪量は少なく、音楽会シーズンが活況を迎えます。7月の平均気温は21℃、1月は1.6℃です。



ブダの丘にそびえる王宮とドナウにかかるくさり橋の景観は、「ドナウの真珠」とたとえられる首都ブダペストの一大パノラマです

1100年以上にわたる歴史、ヨーロッパ文化とアジア文化の融合、定評のある食文化や親しみを感じさせるマジャール人の心など、ハンガリーには数々の魅力があります。EU加盟国の中で、唯一のアジア系民族が築いた国を皆さんにご紹介しましょう。

ハンガリーの歴史

ハンガリー人の祖先はウラル山脈南麓にいた騎馬民族で、西へ移動しながら、カルパチア盆地にたどり着き、896年現在のハンガリーのある地に定住しました。つまり、ハンガリー人は最も西に到達したアジア系の民族でもあるのです。

それまで、自然の神々を崇拝したマジャール人は紀元1000年に国家宗教をキリスト教に改め、ローマ教皇より王冠を戴冠し、ハンガリー王国を樹立し、聖イシュトヴァンが初代国王に就きました。

その後栄華を誇ったハンガリー王国に1241年モンゴル軍が攻め入り、1526年には、オスマン・トルコ軍が侵入してきたが、

マジャール人は、ヨーロッパ・キリスト教文明の守りの要としてその責任を果たしてきました。1699年にオスマン・トルコ軍が撤退した後、ハプスブルグ家の圧政を強いられました。1848年にハンガリー革命が勃発しました。真の独立と自由を求めた戦争にハンガリー人は善戦しましたが、ロシア・ハプスブルグ両帝

エリザベート妃が愛したゲデレー宮殿



国の連合軍に惜しくも1849年に敗退しました。

明治維新と同じ1867年にはハプスブルグ家との和解が成立し、オーストリア・ハンガリー二重帝国がヨーロッパの一大勢力として新たに建国されました。フランツ・ヨーゼフ国王の後であった、エリザベートはハンガリーの女王として国民の人気を集めたのもこの時代のことです。



ゲレールト温泉

両大戦に敗戦し、冷戦下ソ連の勢力図の中に組み敷かれたハンガリーは、1956年ハンガリー動乱を起しますが、ワルシャワ条約機構発動によりソ連をはじめ、周辺諸国の軍に介入され、学生をはじめ多くの命が無残にも失われました。

1989年8月19日には国境地帯の鉄条網を開放したことによって東ドイツの難民をオーストリアに逃し、「汎ヨーロッパ・ピクニック計画」を成功させました。これによって、数カ月後ベルリンの壁の崩壊とともに東西冷戦時代も終結し

たのです。自由を勝取った後も平和で安定した国づくりに成功し、EUへの加盟も2004年5月1日に果たしました。

ハンガリーの魅力 温泉

ハンガリー全国は1300以上の源泉がある温泉大国で、ブダペストの温泉も古くから市民に親しまれています。薬効のある温泉は、古代ローマ時代より、治療を目的として利用されており、近年は医療以外にも美容目的のス

セーチェーニ温泉でチェスを楽しむ人々



パ・リゾートも多く建設されています。

ブダペストの最も有名な温泉の一つは、約100年前に完成した、ゲレールト温泉です。アール・ヌーヴォーの内装が美しいこの温泉の源泉は13世紀にも既に利用されていました。

英雄広場に隣接するセーチェーニ温泉は、まるで宮殿のような建物にあり、ヨーロッパ最大の公衆浴場です。ルカーチをはじめキライ温泉やルダシュ温泉など一つ一つ個性豊かな温泉をお楽しみください。

一方、地方に目を転じると、西ハンガリーのバラトン湖に程近い、世界最大の天然温泉湖であるヘーヴィーズは、一大温泉リゾートです。一年中入浴ができ、深さ40mあまりの湖底から湧き上がる薬湯は一日で湖全体を入れ替えるだけの豊富な水量で、少し硫黄の香りのする水面には浮き輪をつけて浮かんでいる人たちが後を絶ちません。

北ハンガリーの都市ミシュコルツ・タボルツァの洞窟温泉は、カルスト台地の山裾に自然発生した温泉で、打たせ湯のほか、温度の異なる大小の4種類の風呂、屋外のプールなど充実した施設で、楽しみ方も色々です。

この他にも、ブックをはじめ、デブレツェンやジュラ、ハイドゥソボスロー、シャルヴァールなど全国に散らばる1000あまりの名湯秘湯をお楽しみください。

自然

ハンガリー国内には九つの国立公園があり、ハイキング、サイクリング、船による周遊など自然を楽しむ旅人を引付ける素材が豊富で、エコツーリズムにも最適な環境が備わっています。全国に張り巡らされたハイキングトレールは、赤、黄、緑、青で色分けされており、道に迷うことなく自然を満喫することができます。

穏やかな水面を、カヌーやボートで漕ぎ進み、岸辺でキャンプをしながら自然に溶け込むのもお勧



建国1000年を記念して造られた市民公園内にある、ヴァイダフニャド城

めです。特に世界遺産のホルトバージ国立公園にあるティサ湖は、特別自然保護区になっており、水生植物の観察やバードウォッチングに最適です。

音楽文化

ハンガリーは作曲家リスト、コダーイ、バルトークを生んだ音楽の国です。モーツァルトの再来と評判になったリスト、全国で民謡の採譜をし、幼児から始まる一貫した音楽教育法を確立したコダーイ。同様に民族音楽の収集に励んだバルトークは現代音楽の祖として世界中に知れ渡っています。

コダーイは「ハンガリーの民族音楽は、偉大なアジア音楽文化という数千年の大木の最も離れた枝の一つであるが、その幹を通じ、東南アジアや中国、日本に住むそれぞれの民の魂にもつながっている。」と述べています。ハンガリーを訪れる多くの日本人が、ハンガリー民謡に接したときに感じる親しみや安らぎのルーツがまさしくここにあるのです。

世界3大オペラ座の一つである、ハンガリー国立歌劇場をはじめ、オペレッタやミュージカルも大変親しまれており、ブダペストにあるリスト音楽院には毎年何十人も日本人留学生が音楽を学びに訪れています。

クラシック音楽だけではなく、ジプシー楽団やハンガリーの民族音楽のメロディー、民族舞踊のリズムなど、ハンガリーは常に音楽であふれています。

食文化

ハンガリー料理の特徴は、なんと言っても真っ赤なパプリカをふんだんに使うことで、アジアがルーツのハンガリーの食文化はスープやシチューなどの煮込み料理が大変豊富です。赤いので、一見辛そうな粉パプリカですが、肉や魚の臭みを取り、独特の旨みを醸し出すのです。また、香辛料として使われている粉パプリカは甘口辛口などのバリエーションがありますが、そのほかにも生で食べたり、乾燥させたり、ピクルスにしたりして、食卓には欠かせないものとなっています。

なかでも、牛肉と野菜のスープである「グヤーシュ」が最もポピュラーです。

また、ナマズやコイを使ったスープ「ハラスレー」や、果物の冷製スープも試したいものです。

ハンガリーはフォアグラの生産量世界一でその口の中でとろけるうまさは秀逸です。ハンガリー風のフォアグラ「マジャロシュ・リバマーイ」は是非一度試してみてください。

ハンガリーは海が無いのですが、淡水魚の種類は豊富で、内陸国ならではの美味しさがあります。農産国として、食事には野菜も欠かせませんが、鮮度の違いもあってか、普通のトマトやキュウリなども、非常に味が良く、ただ塩をかけただけで美味しいのです。

ワイン

フランス国王ルイ14世に「王のワインにして、ワインの王なり」と言わしめた、トカイ地方の貴腐ワインはハンガリーの特産品で、千年の製造技術が琥珀色のワイン

世界遺産の村、ホッロケー





ショプロン郊外あるエステルハーゼ宮殿、作曲家ハイドンが宮廷音楽家として仕えた

に染み渡り、その絶妙な調和が、世界にも知れ渡っています。

貴腐ワインの産地であるトカイをはじめ、国内には22のワイン産地があり、赤、白、ロゼ、スパークリングとその種類は豊富です。

なかでも、「牡牛の血」と呼ばれる赤ワイン、ピカヴェールやカベルネ・ソーヴィニオン、メルロー、カベルネ・フランなどは世界中に出荷され、数々のワインコンクールで入賞しています。また、トカイをはじめ

め、数々の白ワインも、広く親しまれています。

ワイン生産者の真摯なブドウ生産への取組みとワイン製造管理の結果、良質のワインが生産されていますが、旅行者のみなさんも各地にある、ワインセラーで試飲をしながら、その味を堪能することができます。

世界遺産

ハンガリーに8つの世界遺産があります。

ードナウの真珠ともうたわれる、ブダペストのドナウ河畔の風景をはじめ、国立歌劇場や貴族の館が建ち並ぶ並木道、アンドラーシ通りから英雄広場までの街並みが、世界遺産の対象で、ブダペストの代表的な観光ルートとなっています。

ーブダペストから北東100kmにある、ホッロクーは、ハンガリー古来の木造建築の並ぶ、かわいらしい村で、村の人々は今でも昔ながらの伝統文化を守り生活を営んでいます。

ーブダペストとウィーンを2時間でつなぐ高速道路沿いにあるパンノンハルマ修道院には、ベネディクト派の修道僧が30万冊の蔵書を持つ図書館や国宝級の宝物と共に、ハンガリー最古のキリスト教遺産を千年もの間、守り続けています。

ーハンガリー北東部にあるアッグテレクのカルスト洞窟群はヨーロッパ最大規模の自然遺産で、洞内には鍾乳石や石筍が見事な自然の造形美をかもし出しています。

ーホルトバージ国立公園には、二千年に渡る牧畜文化が存在し、ほかには生息しない灰色牛や

ハンガリーの伝統、馬術





国会議事堂

マンガリツァ豚は現在でも飼育され、その味は絶品です。

―ペーチにある初期キリスト教徒墓地は、その構造と建築方法、内部の装飾が登録の理由になりました。ペーチは一大ワイン産地、ヴィラーニに隣接していますが、ジョルナイ陶磁器など、その文化も有名です。

―オーストリアにまたがるフェルトゥー湖は、ヨーロッパ最大の淡塩水湖で、そこには8千年にわたる文化的な営みがあるのです。付近には「汎ヨーロッパ・ピクニック計画」の舞台となった美しい街、シヨプロンやエステルハージ宮殿などの見所も沢山あります。

トカイワインの生産地域は、三世紀以上にわたりワインの生産管理を厳密に行ってきた文化的な営みが対象となりました。

カラフルな民俗芸能

国内各地で四季折々に様々なお祭りやイベントが開催されますが、特に長い冬に別れを告げ春の訪れを喜ぶ復活祭や聖霊降臨祭、クリスマスなどの宗教上の祝日には今でも民俗衣装をまとった村人たちがお祝いする姿を見ることが出来ます。これらの衣装は、美しい刺繍が施されていますが、そのモチーフや色使いが地方により異なり、最も有名なのは、カロチャのモチーフです。そこでは衣装や装飾品への刺繍だけではなく、民家の部屋の壁にも美しい手書きのモチーフが見られます。また、似

たような色使いはマチョー刺繍にも見られ、メズークヴェシュド博物館でそのコレクションをご覧になることが出来ます。

楽しいショッピング

お土産は、旅の思い出を家族やお友達に分けてあげるための絶好のグッズです。ハンガリーからの人気のお土産品は、ヘレンドやジョルナイに代表される手描きの陶磁器、クリスタル、自然の素材を使った民俗工芸品、手織物、手作り刺繍、陶芸品、ハンガリー料理に欠かすことの出来ないパプリカなどです。品質の良いハンガリーワインや果物の蒸留酒であるパーリンカを一緒にプレゼントすれば最高のお土産になるでしょう。

ワインのある風景



ハンガリー政府観光局本部

1012. Budapest
Vérmező út 4.
tel. +(36 1) 488 8700
fax +(36 1) 488 8600
mtrt@hungarytourism.hu
www.hungarytourism.hu

ハンガリー政府観光局

106-0031
東京都港区西麻布4-16-13
28森ビル11階
tel. +(81-3) 3499 4953
fax +(81-3) 3499 4944
info@hungarytabi.jp
www.hungarytabi.jp

ハンガリー共和国大使館

106-0073
東京都港区三田2-17-14
NSビル
tel. +(81-3) 3798-8801/04
fax +(81-3) 3798-8812
huemb-jp@gol.com
www.hungary.or.jp



ゴルブ・ドブジン城の騎士トーナメント
クヤフスキェ・ポモルスキェ地方



ワルシャワ/ワジェンキ公園のショパンの像

ポドハレ地方/ハイランダ民芸文化



ポーランド共和国の国旗
ワルシャワ/無名戦士の墓

ポーランド共和国

面積	312,000 km ²
地理的な位置	中央ヨーロッパ ポーランドは、 ドイツ・チェコ・スロバ キア・ウクライナ・白ロ シア・リトアニア・ロシ アと国境を分けてい ます。北の国境は、約 500kmのバルト海に接 する海岸線です。
人口	3800万人
国旗	白と赤
言語	ポーランド語
首都	ワルシャワ
主要都市	グダニスク・カトビツェ ・クラクフ・ウッジ・ポズ ナニ・シチェチン・プロ ツワフ
気候	温暖な7月の平均気温 は19度ですが、夏期に は30度を越えることが あります。冬季スポーツ に最適な期間は、一月 から三月まで。



ワルシャワ／王宮広場のジグムントの像

ポーランドは豊かな歴史を持ち、多くの史跡・文化の伝統・豊かな景観、そして主にポーランド流の親切な持て成し方と温情によって、いつも魅力的な旅先でした。既に多くの外国の方たちがポーランドを訪れたにもかかわらず、まだその魅力の全貌が発見されていない国です。ポーランドの古い町にも素晴らしい芸術品があり、それらは東と西の文化からの影響を証明しています。それらの都市は魅力に溢れ、訪れる価値があります。また益々ポーランドは、国際会議・ビジネス会議の国として人気が高まっています。毎年さらに多くの外国人がポーランドの保養地で休息し、自然を愛する人々は、珍しい鳥類と哺乳類を観察するためにポーランドを訪れます。皆が自分のために、楽しめるものや場所を発見することができます。

1000年以上のポーランド歴史においても栄枯盛衰があり、輝かしい文化の時代と悲惨な戦争の時代がありました。しかしポーランドには素晴らしい文化遺産と、歴史的に重要な多くの建築物があります。それらは宮殿・城・民家などです。それらを見学することは、歴史と建築、絵画と彫刻の愛好家たちに、多くの喜びを齎します。独特な技術・産業遺産の多くを見ることができます。

歴史的な都市と文化遺産

ワルシャワの歴史は、非常に興味深いものです。古いワルシャワの景色の特徴であったものは、第二次世界大戦の破壊から明確に復元されたワルシャワ王宮です。その横にある旧市街は、中世の配置そのままに、

素敵な民家が、細道と中央広場の周りに並んでいます。多くの喫茶店・レストラン・土産物店・画廊・博物館そして野外面廊を楽しむことができます。王宮広場と中央広場では、多くの文化イベントやコンサートが催され、ワルシャワ市民と観光客の関心を引きまします。

王の道は、王宮広場からワジェンキ公園まで繋がっています。その道路沿いには、多くの宮殿・商家・歴史的な建築物が建てられました。ヨーロッパでも最も緑の多い首都の一つであるワルシャワのワジェンキ公園は、そこで一番大きくかつ美しいものです。その一番の見所は、18世紀ポーランド最後の王の夏の離宮であった魅力的なワジェンキ宮殿です。世界でも有名なショパンの像も、そのワジェンキ公園にあります。ここでショパン音楽の愛好家たちは、5月から9月末まで、毎週日曜日に野外コンサートを楽しむ



クラクフの旧市街中央広場／聖母マリア教会

ことができます。王の道の終点であり、ワジェンキ公園から数キロメートル離れた所には、ヤン3世ソビエスキ王の夏の宮殿・ビラヌフ宮殿があります。17世紀に建設された宮殿とその周りがある庭園は、ワルシャワにおける見所の一つであることに違いありません。ワルシャワの中心とプラガ地区では、多くの興味のあるアールヌーボーの建築物も見ることができます。また文化科学宮殿の30階からは、ワルシャワ全体を一望することができます。今でもワルシャワで一番の高層建築物であるその建物(234メートル)は、旧ソ連以外で見られる、最も典型的な社会主義建築様式の例であるかもしれません。

クラクフは、ポーランドにおける中世及びルネサンス時代の首都でした。クラクフは、ヨーロッパの中でも最も美しい町の一つであるとも言われることもあります。2000年にヨーロッパ文化都市となったクラクフは、ポーランド文化へ大きな影響を与えています。素晴らしいヤギエウオ大学は、ヨーロッパ最古の大学です。クラクフ旧市街の中央広場は、中世ヨーロッパにおける最大の広場でした。その中心には、12-13世紀にできた織物会館があります。その近くには、ゴシック様式の素晴らしい聖母マリア教会があります。その中には、ニュルンベルグ出身のビット・ストフォシの作品である、木造の独特な祭壇があります。また教会の塔からは、一時間毎にトランペットの曲が流れます。それを一度でも聞いたことがある方は、その謂れ故、クラクフを忘れることがないでしょう。

バベル丘に聳え立つ王宮の歴史



ビェリチカ岩塩鉱山／聖キング礼拝堂

デウシ・コシチュシコ将軍がロシア軍を破った場面を描いています。ポズナニは人口60万人で、パリとモスクワを結ぶヨーロッパ全体を横断するそのルートにあります。ワルシャワを除いて、ポズナニはポーランドで最も早く成長している都市です。ポズナニはここでポーランド国の歴史が始まったことを誇りとし、その市民は町の1000年以上の歴史を誇りとしています。オストルフ・トゥムスキ島には素晴らしい大聖堂があり、町の中でも最も古い地域になっています。そこにある博物館には、中世の彫刻などが多く展示されています。ルネサンス様式の市役所は、旧市街にある中央広場の中心にあります。ポズナニのシンボルである二匹のヤギの像は、

ピアオビェジャ自然公園／ヨーロッパバイソン

あります。100以上の橋のある町です。1000年以上の歴史を持つこの町は、あらゆる時代の建築物を誇りとしています。ポーランドで最も広く最も美しい広場のある旧市街の中央広場は、ブロツワフの中心です。



は、1000年に遡ります。ルネサンス様式のアーケード、そして宮殿の中の室内及びタペストリーが見所です。バベル大聖堂は素晴らしい教会であるだけでなく、ポーランドのパンテオンでもあります。毎日のようにクラクフでは、数多くの文化イベントが催されています。

グダニスクは、バルト海岸のハンザ同盟の重要な都市でした。その中央広場の周りに並んでいる建物・市役所とアルトゥス屋敷などは、グダニスクが一番繁栄したその素晴らしい時代を証明しています。世界最大のレンガ造りの教会である聖母マリア教会の塔にある展望台からは、グダニスク全体の素晴らしいパノラマを見渡すことができます。グダニスクで催される多くのイベントの中で、毎年催されている聖ドミニコ市は、中世からの伝統を受け継いでいます。グダニスク・グディニア・ソポットは、三都市と呼ばれています。それらは、ポーランドのバルト海岸にある最も人気のある観光スポットです。グダニスクからは、スウェーデンへのフェリーも出ています。また、カシュビ地方ヘル半島そしてグダニスク湾周辺で休養する観光客は、その三都市の見学に来ています。

ブロツワフはシレジア地方の中央にあり、オデル川が幾つかの支流を創り、幾つかの島があるところに

ルネサンス様式の宝物である市役所の建物は、その広場の中央にあります。聖エリザベス教会と聖マリアマデライン教会はゴシック様式で、広場の近くに位置しています。聖マリアマデライン教会は、中央ヨーロッパで最も美しいロマン様式の正面を誇りとしています。また、その近くにバロック様式の素晴らしい一例であるブロツワフ大学があり、そのユニークなレオポルディナ講堂では、多くフレスコ画と化粧漆喰が見所です。トゥムスキ橋で町と結ばれているオストルフトゥムスキ島には、お伽話に出てくるような教会や大聖堂があります。ブロツワフは文化の都市であり、多くの重要な文化イベントが催されています。またヨーロッパ最大のパノラマ画の一つである「ラツワビツェの戦い」も、その都市の見所の一つです。高さ15メートル・長さ120メートルのそのパノラマ画は、ラツワビツェの戦いでタ

毎日12時にその市役所の塔の上に現れ戦います。ポズナニは見本市の都市です。毎年30もの国内及び国際見本市が開催されています。市内には幾つかの湖があり、マルタ湖ではヨットやカヌーも楽しめます。またその近くにある人工スキー場は、年中楽しむことができます。マルタ国際演劇祭も、そこで開催されています。



カルバリア・ゼブジドフスカ／劇



グラバルカ／正統派教会



トルニは、ポーランドで最も美しい中世の町の一つであり、コペルニクスが生まれた町です。コペルニクスの家はゴシック様式の建物で、コペルニクスの生家とも言われています。現在は博物館になっています。その他の興味のある建物には、ゴシック様式の市役所、大聖堂と数多くの教会、そしてドイツ騎士団の城跡などがあります。トルニは、蜂蜜入り菓子の産地としても有名です。

世界文化遺産

マルボルクは、元ドイツ騎士団の首都でした。13-15世紀に建設されたその膨大な城は、下城・中城・宮殿そして上城から成り立っています。その一部には博物館があり、美術品などが展示されています。その中に展示されている琥珀のコレクションも見所です。夏期には、野外のコンサートなどのイベントが開催されています。

オシフェンチムは中世の町で、クラクフの西にあります。ナチスは1940年



シチャブニツァ保養地

ビェリチカには、700年の歴史を持つ岩塩鉱山があります。鉱山は現在も塩を産出しています。それと同時に、観光客もその地下の採掘場を見学できるようになっています。地下の通路にある、天然及びアーティストによって創られた彫刻が見所です。またその中には、地下のサナトリウムもあります。



4月に、その郊外にアウシュビッツ・ビルケナウ強制収容所を作りました。28ヶ国の人々が収容され、主にユダヤ人とポーランド人が150万人も殺害された場所です。戦後になって収容所は、ポーランド人とその他の国民の殉難の場として認められ、国際アウシュビッツ・ビルケナウ博物館が設立されました。

クドバ・ズドロイ保養地

平和教会。17世紀にシレジアのプロテスタントによって建設された、シフィドニツァとヤボルにある世界でも例のない木造の教会です。シフィドニツァの教会には、7500人ほど収容することができます。その教会の室内装飾には、18世紀のバロック様式の絵画が用いられています。ヤボルの教会には6000人を収容ことができ、室内装飾には聖書の143場面の絵が用いられています。

カルバリア・ゼブジドフスカと聖ベルナルド教会。教会はバロック様式で17世紀に建設され、カルバリアの聖母マリアの奇跡で有名です。キリストの苦難の道は、独立して作られた綺麗な幾つかの礼拝堂と小さな教会から成り立っています。毎年この教会を、百万人以上の巡礼者

が訪れます。また色々販売されている市場、そして有名な劇によって、多くの観光客も訪れる場所です。

木造建築の道。南部ポーランドのカルパチャ山脈の麓にある建築物です。それはデンプノにある15世紀の聖マイケル教会・オラフカにある17世紀の聖ヨハネバプテスト教会・ビバリバにある15世紀末の聖マイケル大天使教会・リプニツァ・ムロバナにある15世紀の聖レオナルド教会・センコバにあるゴシック様式の聖フィリップとヤコブ教会・シャロバにあるバロック様式の聖マイケル大天使教会です。

クラクフ・トルニ・ワルシャワとザモシチの旧市街。クラクフの旧市街には、中世時代の配置を保つ建築的集合体とバベルの丘のバベル城があります。ワルシャワの旧市街は、第二次世界大戦時に破壊され、戦後に完全に復元された町です。ユネスコによって文化遺産として認められた唯一復興された町です。トルニの旧市街はポーランド最大のゴシック様式の集合体で、中世の配置が残っています。ザモシチはルネサンス様式の宝物で、理想的な町としてイタリア人によって設計されました。

ビアオビェジャ自然公園。ポーランドには23の国立自然公園があり、その内の六つは、ユネスコの生物園特別保留地になっています。ヨーロッパ最大の動物・ヨーロッパバイソンの保留地でもあるビアオビェジャ自然公園は、ユネスコの世界の文化・自然遺産にもなりました。

忘れてはいけないこと

第二次世界大戦が始まるまで、ポーランドは重要なユダヤ人の文化の中心でした。それ以前には350万人のユダヤ人がポーランドに住んでおり、ヨーロッパ最大のユダヤ人社会を形成していました。ホロコースト時、占領されたポーランドで、450万人のユダヤ人がナチスドイツによって殺害されました。その内の300万人は、ポーランド国民

クドバ・ズドロイの飲用温泉



治療風呂





バルト海岸

でした。現在、約1万人のユダヤ人がポーランドに住んでいます。

彼らはワルシャワ・クラクフ・ウヅジ・ルブリンそしてブロツワフでユダヤ教社会を作り生活しています。ポーランドとユダヤ人の関係は、ポーランド国と同じ位長い歴史があります。10世紀にユダヤ人は商人として来ました。最も古いユダヤ人の移住の跡は、11世紀に遡ります。十字軍及び西ヨーロッパで虐待され、その結果としてドイツ・ボヘミア・ハンガリー・スペイン・ポルトガル・イタリアとトルコのユダヤ人たちは、ポーランドに助けを求めました。1264年にカリシュのポレスワフ王子は、ユダヤ人にカリシュ規制を作り、それによってユダヤ人のポーランドへの移住の法的基盤ができました。その特権は、またカジメシ・ベルキ王によってポーランド全国に広められ、そしてその後のポーランドによっても承認されました。それによってユダヤ人は、自由に宗教的な活動ができるようになり、ユダヤ人社会として組織を作ることができるようになりました。16世紀にユダヤ人国会がルブリンに発足されたことによって、ポーランドとリトアニアのユダヤ人社会には、独自の代表組織が成立しました。そしてユダヤ人の宗教と文化が栄え始めました。ユダヤ人は幅広い活動を開始し、ユダヤ人学校などが創立されました。ユダヤ人の学者たちは、全ヨーロッパで知られるようになり、特に医学・数学と天文学の分野で活発になりました。ユダヤ人社会の発展はユダヤ教化の時代に起こりました。つまりユダヤ教とユダヤの伝統を保護すると同時に、より深くポーランドの社会と文化生活に関わりより同化する発想によって、さらに起きたわけです。

同化運動は、18世紀にポーランドの東部で始まりました。ポドリヤで、イズラエル・ベン・エリェザルによって作られた運動です。その同化の傾向



クラクフのカジメシ地区／シナゴグ

は19世紀末まで続きましたが、その後半にユダヤ主義の運動も誕生しました。また、第一次世界大戦と第二次世界大戦の間に多くの政党が誕生し、ユダヤ人の多くの社会的・政治的組織が活動を行っていました。

19世紀と20世紀には、ユダヤ文学が非常に発展しました。最も優れた作家の中にはイザーク・レイブ・ペレツ(1852-1915)・ショレム・アシュ(1880-1957)・シモン・アンスキ(1863-1919)とイチク・マングル(1901-1969)がいます。ノーベル文学賞を受賞したオディッシュ現代文学の作家、イザーク・シンガーもポーランド出身です。

第二次世界大戦時のナチスによるポーランド占領は、ポーランドのユダヤ人を絶滅させ、ポーランドのユダヤ人社会の発展を閉ざしました。戦後のポーランドで、ホロコ-

ストを生き残った数少ないユダヤ人たちは、それらの社会・文化生活の組織を復活させました。現在ワルシャワには、ヨーロッパで唯一の町として、国立ユダヤ劇場があります。(Plac Grzybowski広場14・16)また「ユダヤの言い分」という週刊誌が、ポーランド語とイディッシュ語で発刊されています。ポーランドの主要都市に支部を持つ「ユダヤ社会・文化協会」の本部は、ワルシャワにあります。ポーランドでのユダヤ人の遺産を保護するために、多くの組織と財団もできました。ワルシャワのユダヤ歴史学院とその他の多くの研究所では、ポーランドのユダヤ人の歴史に関する幅広い研究が行われています。

保養地

ポーランドの保養地はヨーロッパ標準であり、フランス・スイスまたはハンガリーの有名な保養地に十分対抗できるものです。山脈地帯の綺麗な空気、そして低地と海岸の微気候の治療効果のある保養地、そして治療効果のあるミネラルウォーターは、昔からポーランドで知られていました。現在、生活スタイルの変化及び人々の美容への関心の高さが、保養地に新しいチャンスを与えています。保養地にある小道での散策・喫茶店巡り・風呂・マッサージ・泥風呂、そしてコンサートを楽しむことや周囲の観光に、益々人気が高まっています。

ポーランドの至る所に、40ヶ所の年中無休の保養地があります。それらの殆んどが自然の美しい地域にあり、観光名所の多い場所にあります。ポーランドのミネラルウォーター



クラクフのカジメシ地区／ユダヤ文化祭



ドイツ騎士団のマルボルク城

一には、成分の異なるものが多種があるため、様々な病気に効能があります。保養地での治療は、専門の医師によって行われ管理されています。近年、保養地が提供するサービスに、「健康農場」「美容農場」が加わりました。それらによって、「保養地は病気の療養に」という考え方が変わり始めたと言えます。病気の治療以外に、ポーランドの保養地は、幅広い意味で健康維持のためのサービスも提供しています。

ポーランド料理

ポーランドの伝統料理には、フランス料理・リトアニア料理・ユダヤ料理・タタール料理の影響もあります。またポーランド料理は、地方によってかなり異なったものになります。北部の湖水地方では、魚料理を得意としています。マゾフシェ地方の低地の料理では、発酵したライ麦のスープであるジュレクが有名です。

また、東部ポーランドの場合には、外国人が特に好む、色々な種類の餃子を得意としています。ビェルコポルスカ地方は鴨料理を掲げ、北東地方のスバウキ地方はジャガイモ料理

理を得意としています。山岳地帯のポドハレ地方では、キャベツのスープと羊のミルクで作るオスチペクの燻製のチーズを誇りとしています。

それらは、自然の豊かな地域で採れる農産物を材料にしています。また、「ポーランド料理を考える時、魚・ザリガニ・鹿・森で取れる果物類を忘れてはならない」と、経験豊かなポーランド料理専門家が言っています。ポーランド料理の独特な味と香りは、伝統的な作り方が保たれていることによって生み出されます。

化学調味料や着色剤を使用しません。ポーランドの料理人たちは、今では世界中で忘れ去られている料理技術を未だに活用しています。それらによって、カブハボタンのケーキやザリガニバターのような料理も生み出すことができます。ポーランド料理の多くの材料は、外国人にとって不思議な物かもしれません。ザウアークラフト・ピクルス・乾し茸・発酵した牛乳・発酵したライ麦のスープは、その一例です。ポーランド料理は心のある料理です。

フオドニク・赤カブの冷製スープ



実用情報

- **ポーランド観光庁**
ul. Chałubińskiego 4/6, 00-928 Warsaw
tel. (+48 22) 630-17-36, fax 630-17-42
e-mail: pot@pot.gov.pl, www.pot.gov.pl

www.poland-tourism.pl
- **経済・労働・社会政策省**
pl. Trzech Krzyży 3/5, 00-507 Warsaw
P. O. Box 59, 00-955 Warszawa 15
tel. (+48 22) 693-50-00, fax 693-40-48
e-mail: BPI@mpips.gov.pl, www.mgpiips.gov.pl
- **観光局**
ul. Żurawia 4a, 00-503 Warsaw
tel. (+48 22) 693-49-40, fax 693-40-44
e-mail: BPI@mpips.gov.pl, www.mgpiips.gov.pl
- **ポーランド観光商工会議所**
ul. Astronomów 3/411, 01-450 Warsaw
tel. (+48 22) 836-99-71, 836-99-73
e-mail: bwpit@pit.org.pl, www.pit.org.pl
- **ポーランド観光開発公社**
ul. Stawki 2, 00-193 Warsaw
tel. (+48 22) 860-67-79, 860-67-80
e-mail: part@part.com.pl, www.part.com.pl
- **観光学院**
ul. Merliniego 9a, 02-511 Warsaw
tel. (+48 22) 844-63-47, fax 844-12-63
e-mail: it@intur.com.pl, www.intur.com.pl
- **ポーランドホテル協会**
ul. Nowogrodzka 44 lok. 2, 00-695 Warsaw
tel. (+48 22) 622-69-92, fax 622-69-91
e-mail: pzh@hotel.pl, www.hotelarze.pl

宿泊

ホテルには、星のマークが付いています。安いホテルから豪華なホテルまであります。

- ホテルの予約は、電話またはインターネットでできます。
www.discover-poland.pl,
www.hotelsinpoland.com,
www.polhotels.com,
www.polhotel.pl,
www.hotelspoland.com,
www.warsawshotel.com
- **Orbisホテルの案内所と予約**
tel. (local) 0-801 606 606 or +(48-502) 805 805
www.orbis.pl, www.orbisonline.pl
- **城・宮殿などの多くの歴史的な建物で、宿泊・食事ができるようになっています。**
tel. +(48-22) 433 60 30, fax 433 60 31
www.leisure-heritage.com
- **農村での休息の予約**
tel. +(48-52) 398 14 34, mobile +(48-602) 459 137
e-mail: federgg@wp.pl, www.agritourism.pl
- **ユースホステル**
tel. +(48-22) 849 81 28, fax 849 83 54
www.hostelling.com.pl



バンスカ・ビストリツァ中央広場



ブラティスラヴァ レドゥタ・コンサートホール

ボイニツェ城



ブラティスラヴァのグラサールコヴィチ城

スロバキア

面積

4万9035km²

地理的な位置

スロバキア共和国は、中央ヨーロッパに位置しています。陸地に囲まれた小さな国の最も地形的な特徴は、国土の海拔度に差があるということです。国土の大部分は、起伏の多い山岳地帯です。北部と北東部のカルパチア山脈には、景観な湖や谷間が多いです。南部と東部の低地は肥沃な土地であり、そこは重要な農業地帯です。ウーンとライン川を結ぶドナウ川は、黒海に達するまでの主要な水路となっています。西部ではオーストリアとチェコと、北部はポーランド、南部はハンガリー、そして東部ではウクライナと国境を分けています。

人口 国旗

539万5000人(1999年現在)

上から白、青、赤の3色。旗の中には、青と赤色地を背景に白抜きのスロバキア十字架の入った小盾が掲げられています。

言語 首都

スロバキア語

ブラティスラヴァ

主要都市

ブラティスラヴァ、コシツェ、バンスカ・ビストリツァ、ニトラ、トゥルナヴァ

気候

四季のある大陸性気候で、季節の違いがはっきりしています。冬の平均気温は零下2度、夏は21度。最も寒い時期は1月で、最も暖かい時期は7月と8月です。高地での積雪状態の平均日数は130日です。カルパチアの峯が、国土を寒風から守っています。



スロバキア

スロバキア共和国は、有力河川と結びついたヨーロッパの心臓部に位置し、新旧の交易路と交差しています。また昔ローマ帝国の最北端の領土があった場所が、現在のスロバキアになっています。自然と我々の祖先は、スロバキア共和国に豊かな自然美と天然資源を与えてくれました。このことからスロバキアは、海を除いて、旅行者に非常に魅力的なレクリエーションや休息・娯楽プログラムを提供することができます。

スロバキア共和国には、9ヶ所の国立公園・14ヶ所の一般に公開されている洞窟・水泳や他のウォータースポーツに適した200ヶ所以上の場所・設備の完備した

ブラティスラヴァ城

30ヶ所以上のウォータースポーツ施設・1ヶ所の自然世界遺産と3ヶ所の文化や歴史の世界遺産・10ヶ所の野外博物館・100ヶ所以上の城や館、そして郷土色溢れる民俗芸能や料理が存在しています。

諸都市と文化

スロバキア共和国の首都であるブラティスラヴァは、政治・経済・文化分野において、国の中心的役割を果たしています。この街は、ケルト人やローマ帝国時代と結びついており、正に込み入った歴史があります。またその歴史は大モラヴィア国の時代までに遡ることが、考古学的に証明され

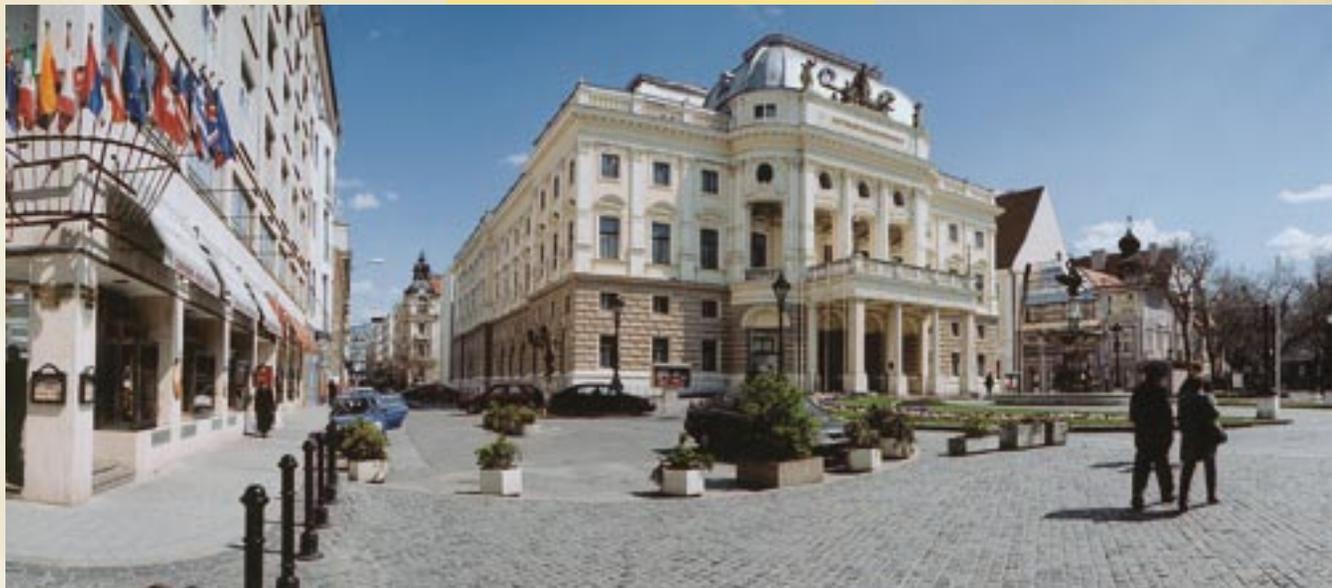
スロバキア国立劇場

ています。要塞化された定住地は、長年に亘って重要な地として発達していきましたが、1291年には特権のある町として、その自治権を与えられました。

マティアス・コルヴィヌスは、1465年にイストロポリターナ・アカデミーという最初の学院を創設しました。

1526年のハンガリー南部地方のモハチの戦い(ハンガリー軍がトルコ軍に敗北した戦い)の後、ブラティスラヴァはハプスブルグ朝傘下のハンガリーの首都で王の住む町となり、その状況はさらに250年余りも続きました。

町は各時代の建築様式を保持していますが、それはルネッサンス・バロック・ロココ・クラシックと、誇りに満ちたものが混





在しています。近年修復されたデヴィン城は、町から10km離れた場所にあります。その他の見所は、13世紀の市庁舎・首座司

ベトゥリア荘園邸宅

トウルナヴァの歴史は新石器時代にまで遡れますが、この町の最盛期は大モラーヴィア国の時代でした。1238年にこの町は、最初の自由な王の町となり、1541年から250年に亙り、ハンガリー王国の教会司教座の中心地として機能していました。1635年にこの町に創設された大学の建物群の中に、17世紀と18世紀の建築を代表する素晴らしい建物があります。

スロバキアの中心部のフロン川近くに位置するバンスカ・ビストリツァの歴史は、1255年まで遡ることができます。この町は、銀・銅・その他の金属資源に近接しているため、鉱山町として栄えました。幾つかのルネッサンスとゴシック様式の建物が有名ですが、その中でも、二つのゴシック教会・元市庁舎であったマティアス館・司教館・小塔と櫓のある要塞と、誇るべき建築物があります。

レヴォチャは、歴史的出来事の豊富な興味のある町です。1271年にこの町は、

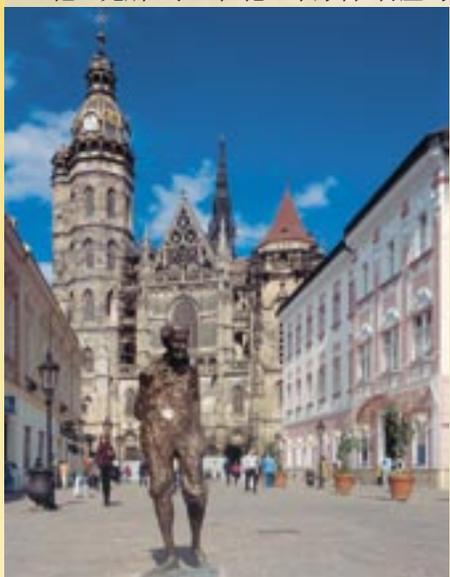
スピシュ・サクソン・ユニオンの首都となりましたが、1323年には自由な王の町として宣言されました。

14世紀にまで遡る聖ユゼフ教会には、しばしば修正が施されました。バヴォル工匠によって作成され、12の付属小祭壇を持つこの教会のゴシック様式の祭壇は、世界でも最大のものであり、高さ18.6m・幅6mもあります。

コシツェは東部スロバキアの中心地で、多くのゴシックの建築様式を持ち、その昔を思い出させる豊かな歴史の町です。町に聳え立つ聖エリザベス大聖堂は、世界のゴシック様式の大聖堂の中でも、最も素晴らしいものの一つとされています。

ユネスコの世界遺産

火山層の丘にあるバンスカ・スタブニツァの絵のような鉱山の町は、貯水システムや精錬冶金作業など、全ての技術的遺



コシツェの聖エリザベス大聖堂

教館・聖ミカエル塔(14から15世紀)・聖マルチン大聖堂(14から15世紀)・セグネル館・ローランド泉などが挙げられます。

カピトゥルスカ通り・クラリスカ通り・ラウリンスカ通りを散策すると、多くの洗練された邸宅を見ることができます。町中には、無数とも思える宗教関連の建物・修道院や教会が存在しています。ブラティスラヴァ城は、町の歴史的にハイライトとも言える建築物です。この町は、様々な重要な出来事のあった場所でした。聖シュテファン聖王の王冠は、この王の住む町に、包み隠されていました。市立劇場やコンサートホールも素晴らしいものです。最も重要な美術館は、スロバキア国立ギャラリーです。フラヴネ・ナメスティク中央広場にある、市庁舎内の市立博物館も興味深いものです。

バルデヨフ旧市街





跡を持っている町です。その時代その街の技術水準は非常に高く、1762年にマリア・テレーザ女王は、この場所に世界で初めて技術系大学を創設し、文字通り世界中からの多くの専門家の育成をしました。

ドナウ川

洞窟、ドミチャ・ゴンバセク・シリツカ・ヤソフスカとオブティンスカのあられ石洞窟(あられ石=スペインのアラゴン地方で発

ヨーロッパで初めて洞窟内に電気照明を設置しましたが、その洞窟には7000から8000年前に形作られた14万5000m³の氷が存在しています。2000年にこの洞窟は、ユネスコ自然世界遺産のリストに書き加えられました。

バルデヨフは、サリス地方の北部にある要塞化された交易の中心地でしたが、ここは中世の交易の町として、その後も富み栄え発展して行きました。町は徐々に各種の技術と多様な文化を吸収し、その時代の魅力は今日まで続いています。



ユダヤ遺産

スロバキアにおけるユダヤ人の定住の時期とその由来については、はっきりしたことはわかっていません。スロバキアでのユダヤ人定住の最初の痕跡は、想像の域をでませんが、ローマ帝国時代のヴィクトリウス15世の時代に、ヨーロッパ北方部を強化するために、要塞を築くために部隊を送った西暦1世紀末頃と思われます。現在のブラティスラヴァの近郊に位置した、ゲルアルタ要塞(ルソヴェツの近郊)やカルヌツム要塞(ハインブルグ近郊)などは、帝国の防衛ラインの一部として築

別例では、スピシュ城とその周辺にある文化遺産は見所です。そこには、谷間から切り立った石灰華の丘で全面的に飾られた領土があり、その丘の麓には小さな町がありますが、その反対側には教会の事務官舎群があります。こうした環境の場所はヨーロッパの各地に存在していますが、それは制限された形での存在であり、そうした理由からスピシュ城とその一体の環境は、世界遺産の遺跡としてユニークです。

ブラティスラヴァの旧市街市庁舎

見された石)が、1995年にユネスコの自然世界遺産に指定されました。それらには、氷・鍾乳石・あられ石などが見られます。

ドブシンスカ氷洞窟は1870年初期に発見され、1872年には一般に公開されるようになりました。この洞窟は、

ヴルコリネツ

ヴルコリネツとして知られている民俗建築の世界遺産は、ルゾンベロク町近郊の小さな村落です。この村落は、シドロヴォ峰の崖下に閉じ込められていますが、その崖のお陰で過去の時間からよく耐えてこられただけでなく、同様の村落が長い時間の流れの中で古い民俗建築から新しい建築に変えられる運命の中、その変化を避けることができました。

1995年にスロバキア・カルスト(鋸歯状のカリスト地形)とハンガリーのアッグテレクの洞窟が、世界遺産に指定されました。スロバキア・カルストは、既に1977年には保護地域に指定されていました。その保護の内には、生物圏保護も含まれていました。スロバキアの東部にある4ヶ所の





かれました。兵士たちがこの地へ来た時、ユダヤ人の奴隷や商人を引き連れてやって来たことは、ほぼ確実なことです。

スロバキアのユダヤ文化は、主に民俗美術によって代表されています。一般庶民のアイデアにより、彼らの手によって作品は創りあげられました。最古のシナゴーク

スロバキアのフォークロア



(ユダヤ教の礼拝堂)は、木材によって築かれました。歴史的資料によれば、スロバキアにおけるシナゴークの壁は、ユダヤ人たちによって建設されました。18世紀末でシナゴークは、ポーランドのそれをモデルに築かれましたが、その様式は4本の円柱と9つのアーチ形天井からなるものでした。ムーア様式・新ゴシック様式・クラシック様式は、一般的でした。

ジェレーネ・プレシウ/タトラ山脈

ユダヤ人の墓地美術は、他のそれとは大いに異なっています。ポーランドとの国境に近いスロバキアの北部では、ユダヤ墓地では広範な装飾を施しているのを見ることができ、一方ハンガリーに近いスロバキア南部では、墓石はシンプルな装飾しかありません。

墓所の最も素晴らしい眺めの一つに、山中に隔絶したか或いは切り立った丘の麓に位置し、まるで既に遺棄されたか荒廃した感じを与える墓所があります。保存されたシナゴークと共にあるユダヤ人墓地は、スロバキアにおけるユダヤ人共同体の熱心な宗教・社会生活の最期の物理的証拠です。

ブラティスラバにあるハタム・ゾフェルの霊廟は、スロバキアにおける興味のある

遺跡の一つです。この霊廟は、1670年から1817年におけるユダヤ人墓地の23ヶ所の墓穴と43ヶ所の墓石を、共同霊廟にまとめたものです。毎年世界中から多くの人が、このハタム・ゾフェル霊廟を訪れます。この訪問客たちは、19世紀の偉大なユダヤ人学者のハタム・ゾフェルに感謝し敬意を表します。

セニツァ(スロバキアの西部)にある古いユダヤ・サークル墓地は、スロバキアにおいてユダヤ民族が存在したという興味深い証拠です。この円形墓地は、

スロバキアのみならずヨーロッパ全体でも奇妙なものとなされています。直径は150mあり、その周囲は壁で囲まれています。

チドゥク・ヒダン(痛みの家)は丘の上に位置しており、埋葬地はおそらく何層かスロバキアにおけるユダヤ世界遺産





ボイニツェ動物園

に分離しています。男性と女性の墓穴は、円形状に整備されています。刻まれた墓碑はバロック様式とエンパイヤ様式であり、ヘブライ語・スロバキア語・ハンガリー語・ドイツ語などで書かれています。18世紀の古い墓石の中に混じって、スウェーデン産の花崗岩で作られた20世紀の墓石も見つけることができます。

温泉

貴方は、良い旅のフィーリングとリラックスした雰囲気を得ることは、良い休暇へのキー・ポイントだと信じていますか。もしそうなら、ヨーロッパの心臓部にあるスロバキアをご覧ください。スロバキアは貴方に魅力あるものを提供し、そしてそれは貴方の精神と肉体に活力を与えるでしょう。「どんな風に？」と、貴方は尋ねるかもしれません。我々はそれを“スロバキア・セラピー(治療)”と呼んでおり、それは4つの要素から成り立っています。

ピェスタニは、スロバキアの最も有名な保養地です



それらは次のものです。
カラ・セラピー:自然の色の移り変わりのある風景は、貴方のストレスを解消し、日常生活のわずらわしさを忘れさせるでしょう。

洞穴セラピー:見事な洞穴の中で、貴方は自然が作り出した力による沈黙の美に驚嘆し、また喘息などを和らげる力を持つ新鮮な湿った空気を呼吸することができます。香りセラピー:自然の香り。幅広く良く保護されている自然。夏の牧草地・森林の樹木・汚染されていない河川の水、これら全てが、汚染された町から抜け出した貴方をお持て成しします。

鉱泉湯治セラピー:泥や泥炭・鉱泉水は、我々のオルガニズムの治療剤です。これらは病気を予防し、あなたを長寿に導きます。スロバキアは、治療効果のある泥炭や治療用鉱泉の資源を無限に保有していま

スロバキア料理



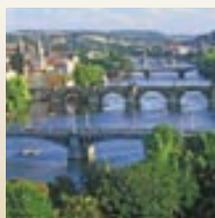
す。長い歴史を通して、人々は病気や不快感を治すためにこうした治療方法をとってきました。この小さな国に1160ヶ所の登録された鉱泉があると聞けば、貴方はこうした場所での治癒能力に対して、何らかの感慨をお持ちになるのではないのでしょうか。

料理

スロバキアの料理には、近隣諸国との接触による影響が強く見られる。ヨーロッパでの一般的な料理、ローカルな独特の料理、そして諸外国からの料理と、様々な料理を提供できます。ブラティスラヴァでは、ユダヤの清浄料理(コーシャ)やスカンジナビアのスマルガスボルド(前菜盛り合わせ料理)も含めて、あらゆる料理への選択が可能です。ドライブ・インやオリジナルな「チャルダス」では、さまざまな郷土料理＝北部地方のスロバキア料理からハンガリー料理・そして南部地方のドナウ沿岸の魚料理まで、提供することができます。

実用情報

- スロバキア観光局
Namestie L. Stura 1
P. O. Box 35
974 05 Banska Bystrica
tel. +421-48-413 61 46 -48
fax +421-48-413 61 49
e-mail: sacr@sacr.sk
www.slovakiatourism.sk
- スロバキア観光局
Záhradnícka 153
P. O. Box 76
850 05 Bratislava
tel. +421-2-507 00 801
fax: +421-2-555 716 49
www.slovakiatourism.sk
- スロバキア共和国経済省
Mierova 19
827 15 Bratislava 212
tel. +421-2-48 54 1111
fax +421-2-43 33 7827
www.economy.gov.sk
- スロバキア旅行代理店協会
Bajkalska 25
821 01 Bratislava 2
tel./fax +421-2-5823 3385
tel. +421-2-5341 9058
e-mail: sack@stonline.sk
e-mail: sack@ba.sknet.sk
www.sack.sk
- スロバキアのホテル・レストラン協会
Namestie Slobody 2
974 01 Banska Bystrica
tel. +421-48-414 46 69
fax +421-48-414 38 55
e-mail: zhr@zhr.sk
www.zhr.sk
- スロバキア共和国案内所協会
Namestie mieru 1
031 01 Liptovsky Mikulas
tel.: +421-44-551 45 41, 16 186
fax: +421-44-551 44 48
e-mail: info@infoslovak.sk
www.infoslovak.sk



チェコ観光局
Czech Tourist Authority
 Vinohradská 46, P. O. BOX 32
 120 41 Praha 2 – Vinohrady
 tel. +420 221 580 111
 fax +420 224 247 516
www.czechtourism.com



ポーランド観光庁
Polish Tourist Organisation
 ul. Chałubińskiego 4/6
 00-928 Warszawa
 tel. +48-22 630-17-36
 fax +48-22 630-17-42
www.poland-tourism.pl

スロバキア観光局
Slovak Tourist Board
 Slovenska agentura pre cestovny ruch
 Namestie L. Stura 1
 P. O. Box 35
 97405 Banska Bystrica
 Slovak Republic
 tel. +421-48-413 61 46 - 48
 fax +421-48-413 61 49
www.slovakiatourism.sk



ハンガリー国立観光局
Hungarian National Tourist Office
 H-1012 Budapest, Vérmező út 4.
 Postal address: Budapest 1548
 tel. +36-1 488-8700
 fax +36-1 488-8600
www.hungarytourism.hu